

大会名 Competition	第39回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-102	Year Month Day Time 2026 年 5 月 3 日 10 : 45
場所 Place	NODENアリーナ(能代総合体育館)

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
東 山	(16 1st 12 17 2nd 17 18 3rd 13 31 4th 17 0 T)	福岡第一
82		59
○		●

主審:Crew chief
田村 高光 秋田
副審:Umpire
山本 光太郎 宮城
藤原 英幸 岩手
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高校 男子

No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	鈴木 勇功		9	0	4	1	0	00	田中 柚稀		4	0	2	0	1
5	中村 颯斗	cap	11	3	0	2	4	1	富 啓翔		2	0	1	0	0
6	大森 来玖		10	2	2	0	0	8	宮城 昊河		0	0	0	0	0
7	新井 伸之助		5	0	2	1	0	9	清水 空		11	3	0	2	2
8	佐藤 久遠		12	1	4	1	2	11	山端 元陽		-	-	-	-	0
9	イトウ ブヲシヤ エノツク		13	0	4	5	0	12	乙藤 睦拓		2	0	1	0	0
10	香月 遥斗		4	0	2	0	1	15	吉川 煌雅		-	-	-	-	0
11	峰崎 仁		0	0	0	0	0	16	ソップ ハンソ		23	1	7	6	4
12	井川 瑛心		-	-	-	-	0	17	ソップ テビシ		0	0	0	0	2
13	吉本 拓司		6	0	3	0	1	18	鈴木 遥輝		-	-	-	-	0
14	野呂田 桜輔		6	2	0	0	1	22	卓 承賢		0	0	0	0	0
15	ゼンザ マワクレド		4	0	2	0	2	23	池田 虎太		-	-	-	-	0
16	伊藤 凪		2	0	1	0	0	31	鷹野 遼磨		-	-	-	-	0
	コーチ 大澤 徹也						0	44	津田 来輝		2	0	1	0	2
	アシコーチ 東 武史						0	45	ガイ マサンバ		7	1	2	0	4
	合計		82	8	24	10	11	58	柴田 悠真		0	1	2	0	4
								76	ジヨハ ヤア		0	0	0	0	0
								77	南里 明玲	cap	8	0	0	0	0
									コーチ 井手口 孝						0
									アシコーチ 原田 裕作						
									合計		59	6	16	8	19

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	13	15.85%	イトウ ブヲシヤ エノツク
2	12	14.63%	佐藤 久遠
3	11	13.41%	中村 颯斗

1	23	38.98%	ソップ ハンソ
2	11	18.64%	清水 空
3	7	11.86%	ガイ マサンバ

Score ranking[Game]

1	23	ソップ ハンソ	福岡第一	2	13	イトウ ブヲシヤ エノツク	東 山	3	12	佐藤 久遠	東 山
---	----	---------	------	---	----	---------------	-----	---	----	-------	-----

近年の高校バスケットを牽引してきたトップチーム同士の注目の一戦

1Q、東山が#8佐藤の6得点など8-0のランで良いスタートを切る。この後の2分は逆に福岡第一が#16ソップ（ハ）の速攻などで10連続得点し、8-10と逆転する。東山は#10香月の速攻で再逆転するが、フィールドゴールが思うように取れないことでタイムアウトを取りオフェンスの立て直しを図る。両チームが良いディフェンスを展開していることで終わり3分、両チームにフィールドゴールが生まれないまま16-12と東山リードで1Qを終える。

2Q、東山は5人全員を変更し、福岡第一はディフェンスをフルコートプレスからのゾーンディフェンスに変更する。東山は注目の#5中村が3Pを決めて加点するが、福岡第一も#45マサンバがリバウンドや3Pなどの活躍で追いつく。東山が#15クレドのブロックショットで守り切ると、福岡第一も8秒バイオレーションで取り返すなどディフェンスの頑張りが光る試合となった。終盤、東山がフルコートディフェンスからの速攻、福岡第一は#9清水が2本の3Pと点を取り合い、33-29の4点差で前半を終える。

3Q、東山#8佐藤の得点から9連続得点し一気に二桁得点差とするが、福岡第一は#16ソップ（ハ）がゴール下で奮闘し48-42まで追い上げる。東山#5中村がブザービーターの3Pを決め、51-42の9点差で3Qを終える。

4Q、東山が福岡第一のディフェンスを攻略し、#9エノツクがペイントエリアで得点するようになる。65-49と16点差がつき試合が決まりかけたが、福岡第一はここから10連続得点で65-59まで盛り返す。ここで#8佐藤がドライブからダブルクラッチで決め会場を沸かせる。このプレーを境に完全に東山がペースを握る。この後、得点が無い福岡第一は、立て続けにタイムアウトを取って流れを変えようとしますが、東山の攻撃を止めるまでには至らず、40だけで31得点の東山が82-59で注目の一戦を制した。